

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年2月15日
【会社名】	株式会社ユビキタス
【英訳名】	Ubiquitous Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐野 勝大
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿一丁目21番1号 明宝ビル6階
【電話番号】	03-5908-3451
【事務連絡者氏名】	管理本部 佐々木 恒
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿一丁目21番1号 明宝ビル6階
【電話番号】	03-5908-3451
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理本部長 森 正章
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、平成28年2月15日開催の取締役会において、子会社取得に関する株式譲渡契約を締結することについて決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社に関する事項

商号	株式会社エイム		
本店の所在地	栃木県さくら市喜連川4329番地		
代表者の氏名	代表取締役社長 渡邊 泰光		
資本金の額	42百万円		
純資産の額	223百万円		
総資産の額	306百万円		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ デバイス組込み各種制御システムの設計開発 ・ デバイス機器へのGracenote製品の組込み ・ WEBシステム、サーバーアプリケーションの設計開発 ・ スマートフォン（iPhone/Android）、パソコン向け各種ソフトウェアの設計開発 ・ iPhone/Android向けソフトウェアの設計開発 ・ データマイニング及び学習型推論エンジンの開発及びライセンス ・ 「MCDB」楽曲属性データのライセンス ・ その他 		
最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益			
決算期	平成25年8月期	平成26年8月期	平成27年8月期
売上高	452百万円	409百万円	409百万円
営業利益	9百万円	10百万円	7百万円
経常利益	31百万円	14百万円	9百万円
当期純利益	31百万円	11百万円	8百万円
提出会社との間の関係	資本関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社と取得対象子会社との間には、ソフトウェアの開発業務の外注取引が年間（平成27年3月期）24百万円ありますが、その他記載すべき取引関係はありません。	

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社の組込みソフトウェア製品やクラウドプラットフォームは、組込み機器を開発するためのソフトウェア開発キット（SDK）や、サービスを構築するためのシステム・環境提供であるため、実際の製品・サービス開発には、一定の開発スキルが必要となります。また、組込みソフトウェアに関しては、技術的な規格・機器のシステム要件を理解して開発することが重要となります。このため、これらの販売にあたり、顧客の機器・サービス毎に、当社製品を組み込むため等の受託開発業務を伴うケースがあります。

特に、当社の主力製品である、Ubiquitous Network Frameworkを代表とするネットワーク関連製品やUbiquitous QuickBootは、ハードウェア・システム特性、標準規格の高度な理解など専門的な知識が必要とされ、注力市場である車載機器向け市場、スマートエネルギー/スマートホームを含むIoT（Internet of Things）市場の案件において、製品、サービスの販売に付随する受託開発業務が増加傾向にあります。

しかしながら、当社は研究開発型の会社として製品開発に注力しており、その開発業務プロセスの違いから、受託開発業務を、外部の受託開発会社に委託するケースも増加し、一部のケースでは、受託開発案件の対応が出来ないことで、販売機会を逸する事例も発生しております。

一方、顧客からの開発委託内容は、従来からの組込みソフトウェア開発に加えて、クラウド側の開発までを含めた広範囲となる傾向にあり、かつ、案件規模も大型化しているため、当社収益への影響も大きくなってきております。

そのため、専門知識を有するエンジニアを必要とする受託開発の需要が高まり、当社製品の拡販においても外部開発会社との連携が重要な位置づけとなってきております。

そこで、スキルの高いエンジニアリソースを確保し、受託開発機能を強化することによるソフトウェア製品の拡販、ならびにコスト低減を実現するために、組込みソフトウェアに関する技術力のある受託開発会社の子会社化が必要と判断し、従来より当社のエンジニアリングパートナーであり、受託開発における各種実績のみならず、自社開発製品によるライセンスビジネスをも手がける株式会社エイムをこの対象として選定いたしました。

同社は、組込みソフトウェア、Web系、サーバー系のスキルの高いエンジニアを擁し、当社と7年間の取引実績があり、当社のソフトウェア製品を活用した十分な受託開発実績があります。また、車載機器メーカー等大手企業向けの豊富な受託開発の実績に加え、自社開発製品の販売実績を有しており、連携することで車載機器メーカー等への両社の製品、サービスの拡販効果も期待できます。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額	
対象会社の普通株式	720百万円
合計(概算額)	720百万円

以上